

外国語

英語 I	単位数	3 単 位
	学科・学年・学級	普通科 第1学年1～4組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	・日常的な話題（自分自身・家族・友人・生活）に加え、広く世界に目を向けた話題について読んだことを理解し、自分なりの表現で考えを書いたりして、相手に伝える基礎的な能力を養う。
使用教科書・副教材等	「Power On English I」（東京書籍）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考（学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など）	考 査 範 囲
第 1 学 期	辞書ガイド Lesson 1 Greetings around the World	4	・辞書の使い方を再確認する。 ・世界のあいさつについての正しい知識を持ち異文化や共通性について学。	・辞書を活用する習慣を身につける。 ・中学既習事項の復習をする。 ・基本的な文法用語・事項を定着する。	1 学 期 中 間 考 査
	Lesson 2 Food Cultures	5	・日本や世界中の食文化について学ぶ。 ・基本的な文型（第4～第5）、不定詞、比較表現を理解する。		
	文法のまとめ Lesson 3 Haiku: Here, There, and Everywhere	6	・Lesson 1, Lesson 2の文法事項を復習する。 ・英語の俳句の作り方を覚える。		1 学 期 末 考 査
	Lesson 4 Quill, the Guide Dog	7	・受け身・進行形・分詞の形容詞用法を理解する。 ・盲導犬の存在やその仕事について学ぶ。 ・S + V + O (=that節)、S + V + O + to不定詞、S + V + O (=疑問詞 + to不定詞) の用法を理解する		
第 2 学 期	文法のまとめ2 Lesson 5 Sparky	9	・Lesson 3, Lesson 4の文法事項を復習する。 ・“Snoopy”の原作者Charles Schulzさんの一生を学ぶ。	・中学校の基本的な文法を踏まえ、高校で学習する文法事項の基礎を定着させる。 ・様々の分野に関心を持たせ、知識を深める。	2 学 期 中 間 考 査
	Lesson 6 Hippos' Secret Substance	10	・It is (was) + (～ + for...) + to不定詞、関係代名詞who（主格）、現在完了形を理解する。 ・カバの赤い汗の秘密を学ぶ。		
	Lesson 7 So many Countries, So Many Laws	11	・関係代名詞which、S + V + O (=whatなどの節)、現在完了進行形を理解する。		2 学 期 末 考 査
	Lesson 8 The Emerald Isle	12	・世界の不思議な法律を学ぶ。 ・S + V + O 1 + O 2 (=that節)、助動詞 + 受け身、S + V + O + C (=現在分詞)を理解する。 ・アイルランドの国の色や文化について学ぶ。 ・S + V + (=be動詞) + C (=that節)、S + V + O 1 + O 2 (=whatなどの節)、関係副詞whereを理解する。		

第 3 学 期	文法のまとめ Lesson 9 Matui Hideki on the World Stage Lesson 10 Pay It Forward	1 2 3	・ Lesson 5～Lesson 8の文法事項を復習する。 ・ ヤンキース松井選手の物語を読み、その生きざまについて学ぶ。 ・ 関係副詞how、過去完了形、強調構文、関係代名詞whatを学ぶ。 ・ 映画「ペイ・フォワード」を読み、トレバー少年の考えた「恩送り」について考える。 ・ It is (was)+形容詞+that節、S + V + (=be動詞)+C (=whether節)、関係副詞why、関係副詞whenを理解する。	・ 高校で学習すべき文法事項、表現等をさらに充実させる。 ・ 物語の読み方を身につける。	学 年 末 考 査
------------------	---	-------------	--	---	-----------------------

【各学期の評価方法】 ・ 定期テストを中心とし、ノート・ワークシート提出、授業参加態度などを考慮し、総合的に評価する。 【課題・提出物等】 1 授業の中でワークシート、補充プリントを使用する。 2 各レッスンで指示されたプリント、ワークシートを提出する。					
【年間の学習状況の評価方法】 次の(2)評価の観点、内容及び、評価方法 における4つの観点から評価した1学期の成績、2学期の成績及び3学期の成績を総合し、年間の学習成績とする。					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・ 辞書は単語の意味だけでなく、その単語の用法、類語、語源等様々な情報を提供してくれるので、面倒がらずに辞書を引こう。 ・ 英語は言葉なので、英文の意味がわかったら終わりとするのではなく、必ず口に出して試みるのが大切である。 ・ 基本的な構文を暗唱してみよう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・ 必要な準備を必ず行い、授業当日に不明な点・間違った点を確認すること。 ・ 欠席した場合は、その分のノートやプリントを級友から借りて写させてもらうことなど、抜け落ちがないようにすることが大切となる。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点	評価の内容	評価方法
関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、英語を読む言語活動、または理解した内容を他者に伝える事を積極的に行っているか。	ワークシート記入状況 ノート 言語活動の状況
表現の能力	文章の内容や自分の解釈が聞き手、読み手に伝わるように効果的に音読したり、文章を書いているか。	ワークシート 言語活動の状況
理解の能力	さまざまなジャンルの英語を読んで、必要な情報や書き手の意向などを理解しているか。	ワークシート 単語テスト 定期考査の読解問題
知識・理解	英語を読むことの活動を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。	ワークシート 定期考査の文法問題

3 担当者からのメッセージ

- ・次の4つの言語活動を通して、実践的なコミュニケーション能力の基礎を身に付けることを目指します。
- 1) 「聞くこと」・・・英語を聞いてその大まかな内容を理解するとともに、場面や目的に応じて適切に反応できるようになること。
- 2) 「読むこと」・・・話者や筆者の伝えたいことの要旨を適切に捉えられるよう、読むこと。
- 3) 「話すこと」・・・情報や考えなどを、場面や目的に応じて適切に伝えられるようになること。
- 4) 「書くこと」・・・聞いたり読んだりして得た情報や知識に対して自分の考えなどをまとめ、発表できるようにまとめること。
- ・3年間の積み重ねが大切なので、間違いを恐れずに積極的に授業を活用すること。
- ・教科書の英文については、自分で運用できるレベルになるまで繰り返し練習を行うこと。
- ・分からないことがあれば遠慮なく聞く姿勢が必要だが、調べることは大切な学習活動なので、自分で調べれば分かるようなことは、極力自分で調べること。
- ・調べ方が分からない場合は、調べ方を教えたり、調べる手助けをする。